

岩手県立中部病院地域医療研修 成果報告会を開催しました

院長 小原 眞

令和3年度岩手県立中部病院地域医療研修成果報告会が10月22日に当院会議室で開催されました。当院で地域医療研修を行った4名の二次研修医の先生方より研修の成果を発表していただきました。新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながらWeb形式での開催となりましたが、発表してくださった先生方はみな目を輝かせ、内容の濃い報告をしてくれました。チーム医療の一員として診療を行った成果や感想、地域だからこそ経験できた症例の振り返り、稀な疾患の経験、中核病院へ搬送する側の状況や事情の理解、また診断から治療まで責任を持って患者を診ることの大切さなど、様々なことを述べてくれました。研修医の先生方にとっては成果を発表する場ですが、我々さわうち病院にとっても指導内容に対する評価の場でもあるため、皆真剣な面持ちで発表内容を聞かせていただきました。発表を聞き、私たちの思いが十分に伝わっていたことを実感し、嬉しく、また頼もしく感じました。中部病院院長の伊藤達朗先生、研修担当の田村乾一先生をはじめとした先生方、事務を担当してくださった皆さんに感謝申し上げます。

中部病院の皆さんには患者の紹介や相談など多くのことでお世話になっています。今後もこのような交流を持ち続け、地域住民のためにも良い連携を維持することが私たちの役割だと考えています。また、地域医療研修という形で今後もお役に立てるよう、できるだけ協力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



中部病院とweb形式で開催しました



活発な質疑応答が行われました



発表者代表に修了証書が手渡されました



主催者挨拶をする小原院長



スライドを使って講評した北村総括院長



10月研修の佐々木夢希先生と記念写真

退職のご挨拶

町立西和賀さわうち病院
総看護師長補佐 佐々木真須子

この度、町立西和賀さわうち病院を退職する事となりました。

39年間の岩手県立病院を退職後、地元である西和賀に戻る予定の折に前総看護師長の後任として北村先生からお声かけを頂き、5年6ヶ月間の現在に至りました。

本来であれば、この4月に新・総看護師長と職位交代を機に退職の予定でしたが、コロナワクチン接種の予定が示されて以降、計画会議や関わる人員確保の一助として総看護師長補佐という立場で半年間を延長させて頂いた形となります。

在職期間の日々に於いては町内や近隣の先生方、医療機関や施設関連の皆様には大変お世話になりました事、この紙面をお借りして心よりお礼と感謝を申し上げたいと思います。ほんとうに有難うございました。



R3.9.30「佐々木真須子総看護師長補佐退職セレモニー」の後に記念写真

また、へき地であるが故の困難さの中でも当院から救急車やドクターヘリでの搬送を目の当たりにし、一人の命を守る使命で行動する関係者を神々しい思いの中で見送った事は、私の忘れられない光景として残る事と思います。

各医療機関の受け入れの配慮と対応により、最短時間での搬送が可能だった事に改めて感謝の思いで一杯です。どうぞ今後とも変わらぬ支援を賜りたく存じます。

沢内病院での1年間を振り返って 町立西和賀さわうち病院 内科医長 赤坂 祐一郎

2020年10月から当院に着任しましたが、着任当時を振り返ると右も左も分からないような状況だったと思います。というのも医師になってから市町村の病院で勤務するのも初めての事でしたので、今まで勤務した病院とは異なる業務内容も多く、戸惑いもありました。また私は腎臓内科が専門ですが、以前勤務していた大学病院では様々な都合上、透析業務に携わる事ができず、お恥ずかしながら慢性透析患者さんの管理もほぼ未経験でした。その中でも自分がこの病院で果たす役割とは何か常に考えながら業務に励み、北村総括、小原院長を始め、さわうち病院のスタッフから色々な事を学ばせて頂きました。今振り返ると退任まであっという間の1年でしたが、



R3.9.30「赤坂祐一郎先生振り返り講演」の後に透析室スタッフと記念写真

医師年数8、9年目でありながら、医師としての基礎的な態度、マネージメントを改めて考えさせられた貴重な1年間であったと思います。スタッフの方々にはご迷惑はおかけしましたが、感謝の気持ちを忘れずにこれからの大学業務に励んでいきたいと思っています。本当に有難うございました。